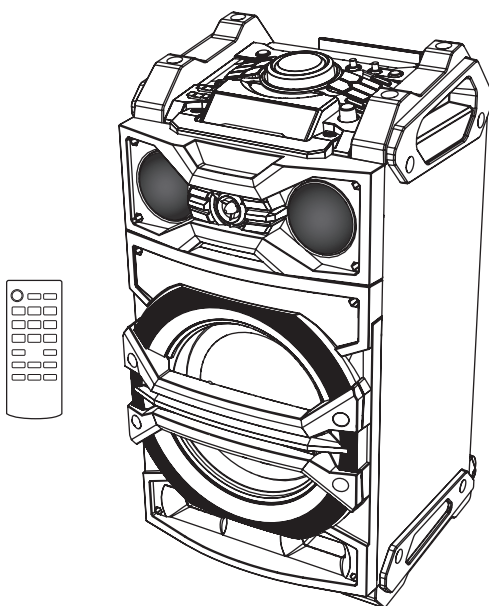


取扱説明書 アクティブスピーカーシステム 品番 SC-CMAX5



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

準備する

USB

Bluetooth®

AUX

使いこなす

必要なとき

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(→3～5ページ)

準備する

付属品	6
対応メディアについて	6
本機の移動について	7
各部の名前と働き	8
電源コードを接続する	9

USB

USB デバイスを聴く	10
USB デバイスを接続する	10
USB デバイスを再生する	10

Bluetooth®

Bluetooth® を楽しむ	12
手動で登録・接続する	12
機器を再生する	12

AUX

外部機器を接続する	13
DVD プレーヤーなどの音声を聴く	13
ポータブルオーディオプレーヤーの 音声を聴く	14
もう 1 台の SC-CMAX5 を接続する	14
マイクやギターを使って楽しむ	15

使いこなす

サウンド・イルミネーション効果を 楽しむ	16
タイマーを使う	17
時計を合わせる	17
おやすみタイマー	17
おめざめタイマー	18
便利な機能	19

必要なとき

こんな表示が出たら	20
故障かな！？	21
本機のお手入れ	23
廃棄 / 譲渡するとき	23
仕様	24
著作権など	24
無線機能使用上のお願い	25
保証とアフターサービス (よくお読みください)	26

本機のサポート情報について

ソフトウェアの更新など、最新のサポート情報は、下記サポートサイトをご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/audio/>

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを(⇒ ○○)で示しています。
- 本書では、本体およびリモコンの表示を[○○]で示しています。
- 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）		
	してはいけない内容です。	
	実行しなければならない内容です。	
	気をつけていただく内容です。	

安全上のご注意

警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する
異常があったときには、電源プラグを抜く



- 煙が出たり、異常なおいや音がある
- 音が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）



傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

安全上のご注意 (必ずお守りください) (続き)

警告

電池は誤った使いかたをしない



- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 直射日光や火など、過度な熱にさらさない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 被覆のはがれた電池は使わない
取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因になります。

雷が鳴ったら、屋外で使わない



- 落雷の恐れがあります。
- 使用しているときは、すぐに機器から離れてください。

分解、改造をしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない



本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm以内で本機を使用しない



本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

⚠ 注意

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 背面の通気孔をふさがないようにください。
- 棚の中など、風通しの悪い狭い所で使用しないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない



高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

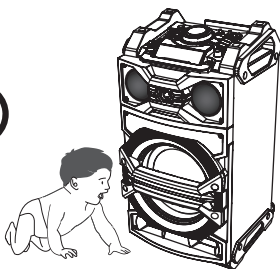
本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

乳幼児など、お子様を本機に近づけさせない



倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く



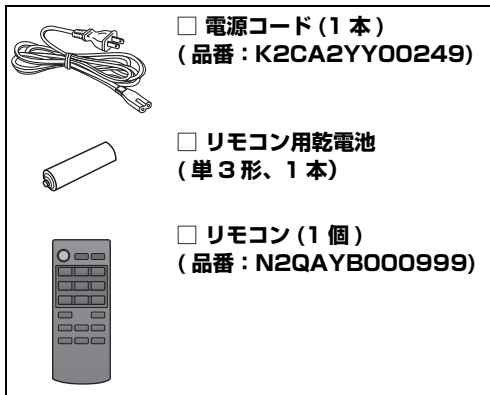
電源プラグ
を抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- USBデバイスは、保護のため取り外しておいてください。

付属品

付属品をご確認ください。



お知らせ

- 付属品の品番は、2014 年 8 月現在のもので、変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>
パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

対応メディアについて

USB デバイス

- すべての USB 機器との接続を保証するわけではありません。
- 本機は FAT12、FAT16 および FAT32 形式でフォーマットされた USB 機器に対応しています。
- 本機はフルスピード USB (USB2.0 準拠) に対応しています。
- 本機では 32 GB までの容量の USB デバイスに対応しています。
- マルチポート USB のカードリーダーを接続しているときは、1 枚のメモリーカードのみが選択されます。それは、おおむね最初に挿入されたカードとなります。

MP3 形式のファイル

- 本機は拡張子が「.mp3」、「.MP3」のファイル形式に対応しています。
- ファイルの記録方法によっては、再生順が異なったり再生できない場合があります。
- ファイルをトラック、フォルダーをアルバムと表現しています。
- 利用可能な容量によって、アルバム数 800 (1 つのアルバムに最大 999 トラック)、トラック数 8000 まで再生できます。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。
特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

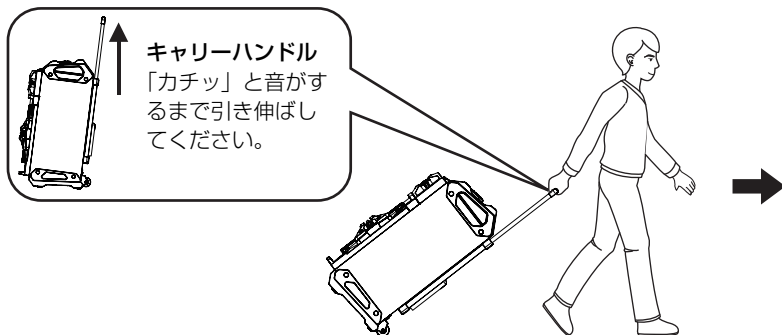
本機の移動について

キャリーハンドルと車輪を使って本機を簡単に移動させることができます。

準備する

本機に接続しているすべてのケーブル、機器などを取り外してください。

移動する際は図のように本機を引いてお運びください。

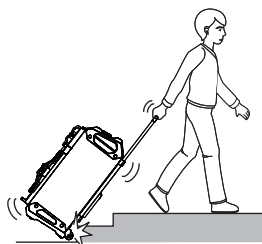


準備する

■ 本機を移動させる際の注意点

- 本機を引いて坂道などを歩くときはご注意ください。
- 本機を引いて移動する時は、起伏の激しい場所、段差を避けて移動してください。
- 段差のある場所では、本機を持ち上げてください。
- 本機を移動させたあとは、キャリーハンドルを元の位置に戻してください。
- 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。本機の近くに時計や磁気カード（クレジットカード）を置いたり、本機をテレビやパソコンの近くに置かないでください。

例：階段など段差のある場所では本機を引いて歩かないでください。

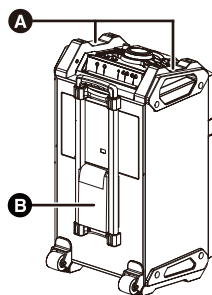


本機を持ち上げる

本機上部の取っ手（A）をつかんで持ち上げてください。

アクセサリポケット（B）

本機を移動させるときに、付属品などを入れて運ぶことができます。

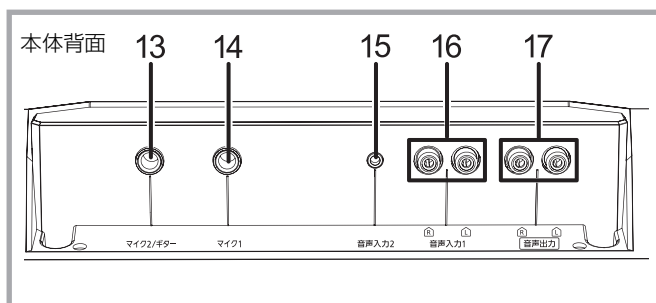


■ よりよい音響効果を得るために

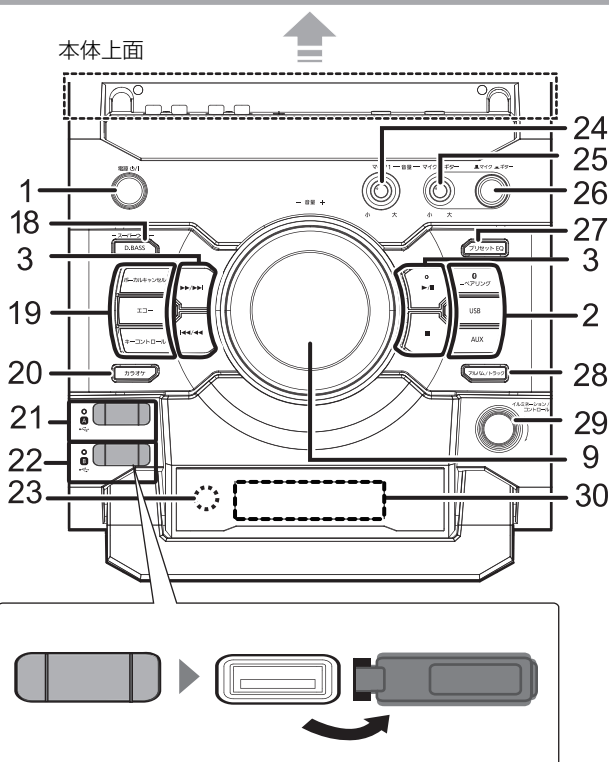
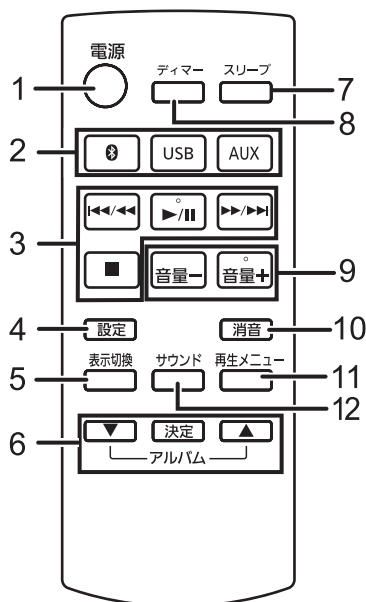
本機の音は置き方によって変わります。例えば、床の上や部屋の隅に置くと、低音が増します。下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

- ー 平らで安定した場所に置く
- ー スピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする
- ー 左右は壁から離す
- ー 硬い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛けて音の反射を少なくする
- ー 後ろの壁から 5 cm 以上離して置く

各部の名前と働き



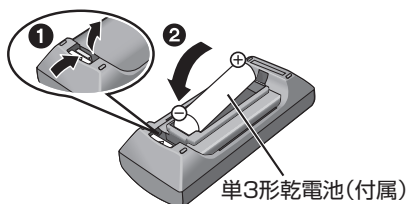
リモコン



リモコンの準備

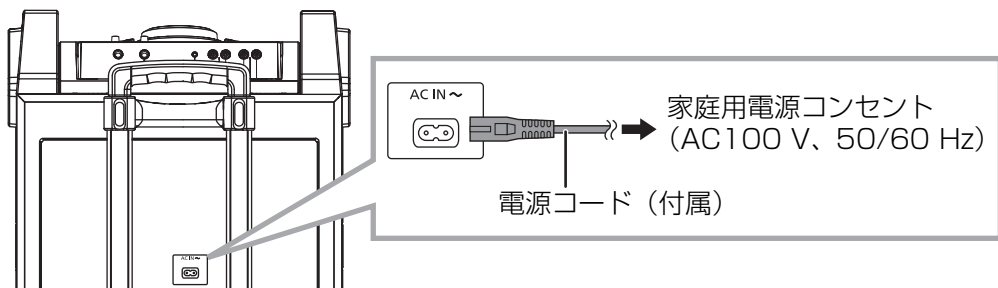
電池を入れてください。

- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 本機のリモコン受信部に向けて、まっすぐ操作してください。



- 1 [電源]: 電源を入 / 切る
- 2 セレクター:
音源を切り換える (⇒ 10、12、13)
本体での操作:
セレクターが「BLUETOOTH」のときに
[-ペアリング] ボタンを押したままにして、
登録待機状態にする
- 3 再生時の基本操作 (⇒ 10、12)
- 4 [設定]: 本機を設定する (⇒ 17 ~ 19)
- 5 [表示切換]: 表示を切り換える
- 6 [] [] [決定]:
メニューや設定画面などで選んで決定する
[スリープ]:
おやすみタイマーを設定する (⇒ 17)
- 8 [ディマー]: 表示部の明るさを調節する
● 押すと表示部が暗くなり、イルミネーションが消えます。もう一度押すと元の明るさに戻ります。
- 9 [- 音量 +]、音量つまみ:
音量を調節する: 0(最小) ~ 50(最大)
- 10 [消音]:
一時的に消音する(消音中は表示部に「MUTE」が点滅します)
● 解除するには、もう一度 [消音] を押す、音量を調節する、または電源を切 / 入する
- 11 [再生メニュー]:
● 音源の再生メニュー画面を表示する (⇒ 11)
● Bluetooth® 機器とペアリングする / 解除する (⇒ 12、13)
- 12 [サウンド]:
サウンドメニュー画面を表示する (⇒ 16)
- 13 マイク 2 / ギター端子 (⇒ 15)
- 14 マイク 1 端子 (⇒ 15)
- 15 音声入力 2 端子 (⇒ 14)
- 16 音声入力 1 端子 (⇒ 13、14)
- 17 音声出力端子
- 18 [D.BASS - スーパーウーハー]
重低音、スーパーウーハーを設定する (⇒ 16)
- 19 [ボーカルキャンセル][エコー]
[キーコントロール]:
カラオケ機能を設定する (⇒ 15)
- 20 [カラオケ]:
カラオケ機能を入 / 切する (⇒ 15)
- 21 USB A 端子 (⇒ 10)
- 22 USB B 端子 (⇒ 10)
- 23 リモコン受信部
受信範囲 正面…約 7 m 以内
上下…各約 20°
左右…各約 30°
● 受信部とリモコンの間に障害物を置かない
てください。
- 24 マイク 1 音量つまみ:
マイク 1 の音量を調節する
- 25 マイク 2 / ギター音量つまみ:
マイク 2 / ギターの音量を調節する
- 26 マイク / ギター切換ボタン (⇒ 15)
- 27 [プリセットEQ]:
本機の音質を設定する (⇒ 16)
- 28 [アルバム / トラック]:
MP3 のアルバム / トラックを選ぶ (⇒ 11)
- 29 [イルミネーション / コントロール]:
イルミネーションの設定を変更する (⇒ 17)
- 30 アルバムやトラックを探す (⇒ 11)
表示部

電源コードを接続する



本機は電源を切った状態でも電力を消費しています。(⇒ 24) 長時間使用しないときは、節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。時計を設定してあるときは、再設定が必要になります。(⇒ 17)

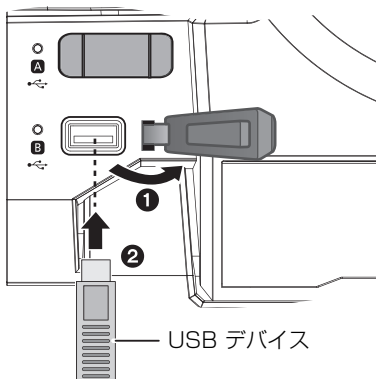
USB デバイスを聴く

USB デバイスを接続する

準備する

パソコンなどから USB デバイスに MP3 の音楽ファイルを入れておく

本体上面



1 本機の音量を下げ、USB デバイスを USB 端子に接続する

2 [USB] を押してセクターを「USB A」または「USB B」に切り換える

選択された USB のランプが緑色に点灯します。

お知らせ

- USB 延長ケーブルは使用しないでください。
本機では正しく動作しません。
- 接続する機器によっては正しく動作しない場合があります。
- USB デバイスの使用後は、本機から取り外してください。

USB デバイスを再生する

準備する

- ① USB デバイスを接続する
- ② 本機の音量を下げておく

1 [USB] を押してセクターを「USB A」または「USB B」に切り換える

● 押すたびに表示が切り換わります。

2 [▶/||] を押す

再生が始まります。

例：

曲番



再生経過時間

■ リモコンでの操作

停止	[■] を押す ● 「RESUME」が表示され、曲が停止した位置を記憶します。 －再開するには [▶/] を押す －始めから再生するにはもう一度 [■] を押してから [▶/] を押す
一時停止	[▶/] を押す ● 再開するには [▶/] を押してください。
曲を飛ばす (スキップ)	[◀◀/▶▶] を押す
アルバムを選ぶ (アルバムスキップ)	[▲]/[▼] を押す
早送り / 早戻し (サーチ)	再生中 / 一時停止中に、[◀◀/▶▶] を押して聴きたい位置まで押したままにする
音量調節	[音量 -] [音量 +] を押す
曲番や再生残り時間を見る	[表示切換] を数回押す ● 押すたびに内容が切り換わります。 (再生中や一時停止中など状態によって異なります)

お知らせ

- MP3 形式のファイルの表示について

例：



アルバム番号 トラック番号

- 曲名などは、英数字 (最大 32 文字) のみ正しく表示されます。本機で対応していない文字は、異なる表示になる場合があります。
- 本機で対応している ID3 タグのバージョンは、1 と 2 です。
(MP3 形式の曲のみ)

再生範囲を変える / 順不同で聴く (再生モード)

- 1 [再生メニュー] を数回押して
「PLAYMODE」を選ぶ
● 押すたびに表示が切り換わります。
- 2 [▲][▼] を押して再生モードを選び、
[決定] を押す

OFF PLAYMODE	通常再生
1-TRACK	1 曲を再生
1-ALBUM	アルバムを再生
RANDOM	曲をランダムに再生
1-ALBUM RANDOM	アルバム内の曲をランダム に再生

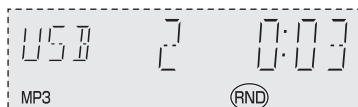
- 「1-ALBUM」 または 「1-ALBUM RANDOM」
の場合は、[決定] を押してから、[▲][▼] で
再生するアルバムを選んでください。

3 [▶/||] を押す



“1-TR”：1 曲再生時に点灯

“1-ALB”：選んだアルバム再生時に点灯



ランダム再生設定時に点灯

お知らせ

- ランダム再生中は一度再生した曲へスキップできません。

繰り返し聴く (リピート再生)

再生モードと組み合わせて設定できます。

- 1 [再生メニュー] を数回押して
「REPEAT」を選ぶ
● 押すたびに表示が切り換わります。
- 2 [▲][▼] を押して「ON REPEAT」
を選び、[決定] を押す
- 3 [▶/||] を押す



■ 解除するには

上記の手順2で「OFF REPEAT」を選ぶ

本体を操作してアルバムやトラック を探す

- 1 本体の [アルバム / トラック] ボタ
ンを押し、「⬂」(アルバム) または
「⬇」(トラック) を選ぶ
- 2 「⬂」(アルバム) または 「⬇」
(トラック) が点滅している間に
[イルミネーション / コントロール]
のつまみを回してアルバムまたはト
ラックを探す

Bluetooth® を楽しむ

Bluetooth® に対応した機器を本機に登録すると、機器の音楽などをワイヤレスで楽しむことができます。

- Bluetooth® 機器の詳細は、機器に付属の説明書もお読みください。

準備する

- 本機と Bluetooth® 機器の電源を入れ、機器を本機に近づける。
- Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を有効にする。
- 本機と他の Bluetooth® 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。

手動で登録・接続する

- 1 **[]** を押して「BLUETOOTH」を選ぶ
 - 表示部に「PAIRING」と表示された場合
⇒ 手順 4 へ
- 2 **[再生メニュー]** を押して「PAIRING」を選び、**[決定]** を押す
- 3 **[▲][▼]** を押して「OK? YES」を選び、**[決定]** を押す
表示部に「PAIRING」と表示されます。
- 4 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「SC-CMAX5」を選んで接続する
登録された機器名が表示部に数秒間表示されます。

お知らせ

- 本体の **[]** -ペアリング- ボタンを押したままにすることで、登録待機状態にすることもできます。
- バスキーの入力を要求された場合は「0000」（ゼロ 4 つ）を入力してください。
- 登録できる Bluetooth® 機器は最大 8 台です。最大登録数を超えて登録すると、登録の古いものから上書き登録され、以前の登録が取り消されることがあります。この場合、登録をやり直してください。

機器を再生する

- 1 **[]** を押して「BLUETOOTH」を選ぶ
表示部に「BLUETOOTH READY」と表示されます。
 - 2 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「SC-CMAX5」を選んで接続する
登録された機器名が表示部に数秒間表示されます。
 - 3 Bluetooth® 機器で音楽などを再生する
- リモコンでの操作

停止	[] を押す
一時停止	[▶/⏸] を押す ● 再開するには [▶/⏸] を押してください。
曲を飛ばす (スキップ)	[⏮/◀][▶/⏭] を押す
早送り / 早戻し (サーチ)	再生中 / 一時停止中に、 [⏮/◀][▶/⏭] を聴きたい位置まで押したままにする

お知らせ

- 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は 1 台です。
- 「BLUETOOTH」セクターを選ぶと、本機は最後に接続していた Bluetooth® 機器と接続しようとします。（このとき、表示部に「LINKING」と表示されます）
- **[表示切換]** を押すと、接続している Bluetooth® 機器の名前や接続プロファイルを見ることができます。Bluetooth® 機器の名前は英数字（最大 16 文字）のみ正しく表示されます。
- 本機と Bluetooth® 機器を接続し、本機のリモコンを操作する場合、Bluetooth® 機器が AVRCP (Audio Video Remote Control Profile) に対応している必要があります。お使いの機器やその状態によっては、操作できない場合があります。

外部機器を接続する

通信モードを切り換える

- ① 本機とBluetooth®機器を接続する前に[]を押して「BLUETOOTH」を選ぶ
 - 本機と他のBluetooth® 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。
- ② [再生メニュー]を数回押して「LINK MODE」を選ぶ
- ③ [▲][▼]を押してモードを選び、[決定]を押す

MODE 1	通信の安定性重視
MODE 2	音質重視 (お買い上げ時の設定)

お知らせ

- ワンセグ対応の携帯電話等によっては、その機器の仕様や設定により、音声再生されないことがあります。その場合、本機の通信モードを「MODE 1」に設定することで改善される場合があります。

接続を解除する

- ① [再生メニュー]を数回押して「DISCONNECT?」を選ぶ
- ② [▲][▼]を押して「OK? YES」を選び、[決定]を押す

お知らせ

- 本体の[-ペアリング]ボタンを押したままにすることで、接続を解除することもできます。
- 「BLUETOOTH」以外のセレクトが選ばれると、Bluetooth® 機器の接続が解除されます。

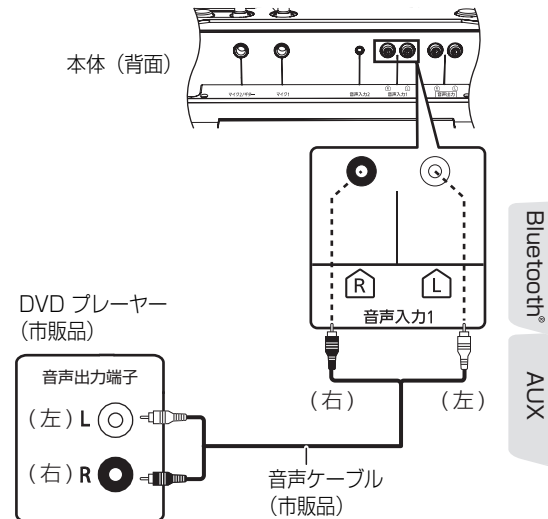
準備する

- 本機から電源コードを抜く。
- すべての機器の電源を切り、接続する機器の説明書をご覧ください。

DVD プレーヤーなどの音声を聴く

DVD プレーヤーなどを接続して、本機から音声を聴くことができます。

例：



- 1 音声ケーブル（市販品）を使って、本機と外部機器を接続する
- 2 [AUX]を押して「AUX 1」を選び、外部機器で音楽などを再生する

お知らせ

- 上記以外の方法で機器を接続したい場合は、オーディオ機器の販売店にお問い合わせください。

外部機器を接続する (続き)

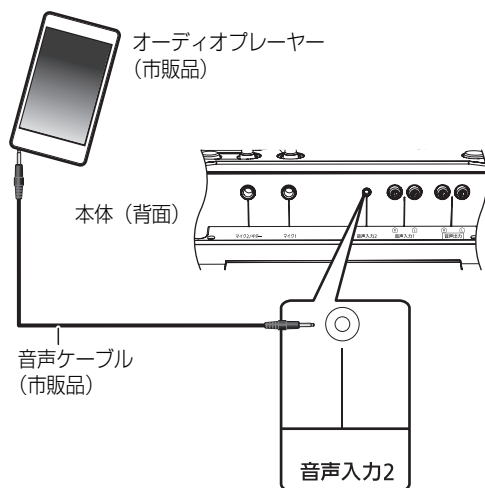
ポータブルオーディオプレーヤーの音声を聴く

ポータブルオーディオプレーヤーを接続して、本機から音声を聴くことができます。

準備する

- 音のひずみを防ぐために、オーディオプレーヤーのイコライザーを切る。
- 本機とオーディオプレーヤーを接続、または取り外す際は、本機とオーディオプレーヤーの音量を下げてください。

例：



1 音声ケーブル (市販品) を使って、本機とオーディオプレーヤーを接続する

- ステレオミニプラグタイプのケーブルをお使いください。

2 [AUX] を押して「AUX 2」を選び、接続した機器で音楽などを再生する

■ 外部機器の音声入力レベルを選ぶには

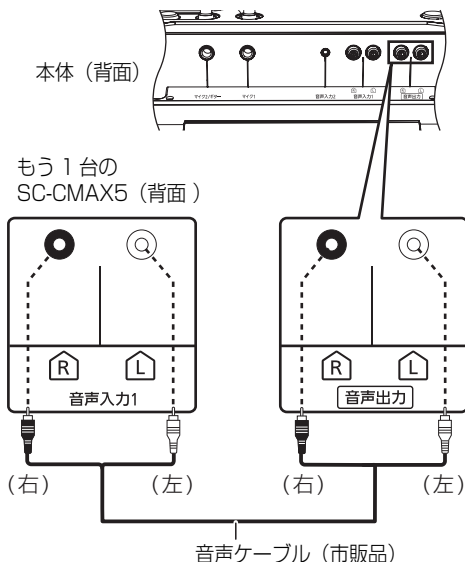
- ① 「AUX 2」選択中に [サウンド] を押して「INPUT LEVEL」を選ぶ
- ② [▲][▼] を押して「NORMAL」または「HIGH」を選び、[決定] を押す
 - 初期設定は「NORMAL」です。

🔍お知らせ

- 音がひずむ場合は、「NORMAL」に設定してください。

もう 1 台の SC-CMAX5 を接続する

本機にもう 1 台の SC-CMAX5 を接続することができます。



1 音声ケーブル (市販品) を使って、本機ともう 1 台の SC-CMAX5 を接続する

2 接続先の SC-CMAX5: [AUX] を押して「AUX 1」を選ぶ

3 接続元の SC-CMAX5: 音声を再生する

🔍お知らせ

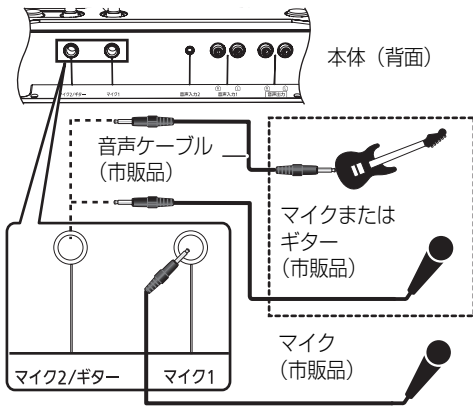
- 複数の SC-CMAX5 を接続している場合、サウンド効果は個別に設定されます。必要に応じて、設定を合わせてください。
- SC-CMAX5 同士の接続は、合計 3 台まで接続することができます。4 台以上接続すると、音質を保てなくなります。

マイクやギターを使って楽しむ

準備する

本機とマイクやギターを接続、または取り外す際は、本機の音量を最小にしてください。

例：



■ 本体での操作

1 マイクまたはギターを接続する

- モノラルプラグタイプのケーブルをお使いください。
- ギターを接続する場合は、マイク 2/ ギター端子に接続してください。

2 (マイク 2/ ギター端子に接続しているとき) マイク / ギター切換ボタンで接続している機器を選ぶ

ボタンを押すたびにマイクとギターの設定が切り換わります。

- ギターを接続しているとき：
ボタンが **[■ ギター]** の位置になっていることを確認してください。
 - マイクを接続しているとき：
ボタンが **[■ マイク]** の位置になっていることを確認してください。
- 接続している機器とボタン設定が違う場合、過度に大きい音、または小さい音が出ることがあります。

3 マイクまたはギターの音量を調節する

マイク 1: マイク 1 音量つまみを回す
マイク 2/ ギター: マイク 2/ ギター音量つまみを回す

4 音楽に合わせて歌う場合： 音源を再生し、本機の音量を調節する

- カラオケで歌う場合は「カラオケを楽しむ」をご覧ください。

🔍お知らせ

- マイクまたはギターを使用中にハウリング（キーンという音）が起きたら、マイク / ギターを本機から離すか音量を下げてください。
- マイクまたはギターの使用が終わったら、音量つまみを「小」にしてから機器を取り外してください。

カラオケを楽しむ

ボーカルキャンセルやエコー、キーコントロールを設定してカラオケを楽しむことができます。

準備する

- 本機にマイクを接続し、再生する音源を選ぶ。

■ 本体での操作

1 マイク / ギター切換ボタンで **[■ マイク]** を選ぶ

ボタンを押すたびにマイクとギターの設定が切り換わります。

2 **[カラオケ]** を押し、**[ON KARAOKE]** を選ぶ

- 解除するときには、「OFF KARAOKE」を選びます。

3 **[ボーカルキャンセル]**、**[エコー]** または **[キーコントロール]** を数回押しして好みの設定にする

- 現在の設定を表示中に **[◀◀/◀▶▶/▶▶▶]** を押して設定を変更することができます。

ボーカル キャンセル	「OFF VOCAL CANCEL」、 「VOCAL CANCEL」、 「L」、 「R」から選んでください。 ●無効にするときは「OFF VOCAL CANCEL」を選んでください。
エコー	「ECHO OFF」、 「ECHO 1」、 「ECHO 2」、 「ECHO 3」から選んでください。 ●無効にするときは「ECHO OFF」を選んでください。
キーコン トロール	「KEYCON-6」から「KEYCON+6」まで調節できます。 ●セクターを切り換えるたびに「KEYCON 0」になります。

4 音源を再生し、カラオケを始める

🔍お知らせ

- 「ON KARAOKE」選択時にマイク / ギター切換ボタンを **[■ ギター]** にする、または本機の電源を切ると、カラオケ機能は無効になります。

サウンド・イルミネーション効果を楽しむ

好みの音質やイルミネーションカラーを設定してお楽しみください。

好みの音質を楽しむ

好みの音質を選ぶことができます。
(EQ：イコライザー)

- 1 [サウンド] を数回押して
「PRESET EQ」を選び、[決定] を押す
- [サウンド] を押すたびに表示が切り換わります。

- 2 [▲][▼] を押して好みの音質を選び、
[決定] を押す

HEAVY	ロックなどパンチを効かせるとき (お買い上げ時の設定)
SOFT	BGM として聴くとき
CLEAR	ジャズなど高音部を鮮明にするとき
VOCAL	ボーカルにつやを出したいとき
FLAT	効果を使わないとき

■ 本体での操作

[プリセット EQ] を数回押して好みの音質を選ぶ

低域 / 中域 / 高域を調節する

バス (低域)、ミッド (中域)、トレブル (高域) のレベル調節ができます。

- 1 [サウンド] を数回押して
「BASS」、「MID」または
「TREBLE」を選び、[決定] を押す
- [サウンド] を押すたびに表示が切り換わります。

- 2 [▲][▼] を押してレベルを選び、
[決定] を押す
- それぞれ「-4」から「+4」まで調節できます。

お知らせ

- 再生する音源によっては効果が少ないものもあります。
- 再生する音源によっては、意図したとおりの効果が得られないことがあります。このようなときは機能を解除してください。

スーパーウーハーを楽しむ

スーパーウーハーのレベルを調節することができます。

- 1 [サウンド] を数回押して
「SUPERWOOFER」を選び、
[決定] を押す
- [サウンド] を押すたびに表示が切り換わります。

- 2 [▲][▼] を押してレベルを選び、
[決定] を押す
- 「SW1」、「SW2」、「SW3」のレベルがあります。
 - 無効にするときは「OFF」を選びます。

■ 本体での操作

- ① [D.BASS - スーパーウーハー] を押したままにする
- 現在の設定が表示されます。
- ② [◀◀/◀◀][▶▶/▶▶] を押してレベルを選ぶ

豊かな低音で聴く

低い周波数の重低音を大きくします。

- 1 [サウンド] を数回押して
「D.BASS」を選び、[決定] を押す
- [サウンド] を押すたびに表示が切り換わります。
- 2 [▲][▼] を押して設定を選び、
[決定] を押す
- 「D.BASS ON」と「D.BASS BEAT」の設定があります。
 - 解除するときは「D.BASS OFF」を選びます。

■ 本体での操作

[D.BASS - スーパーウーハー] を数回押して設定を選ぶ

イルミネーションを楽しむ

本機のイルミネーションカラーを設定することができます。

■ 本体での操作

[イルミネーション / コントロール]
つまみを回して好みの色を選ぶ

- イルミネーション効果を無効にするときは「OFF」を選びます。

タイマーを使う

時計を合わせる

1 [設定] を数回押して「CLOCK」を選び、[決定] を押す

[設定] を押すたびに表示が切り換わります。

2 時計画面の表示中に
[▲][▼] を押して時計を合わせる

押したままにすることで早く進められます。

3 [決定] を押す

押した時点から、時計がスタートします。

■ 時計を確認するには

[設定] を数回押して「CLOCK」を選び、[決定] を押す。

- 表示中にもう一度 [決定] を押すと、時計の設定画面に切り換わります。
- 電源切時は [表示切換] を押すことで表示できます。

お知らせ

- 本機を移動させるときなどに電源プラグを抜いたり、停電したときは、時計を合わせ直してください。
- 本機の時計は 24 時間表示です。
- 時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的な時刻補正をお勧めします。

おやすみタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

[スリープ] を数回押して、時間を選ぶ

[スリープ] を押すたびに表示が切り換わります。

「SLEEP 30」分→「SLEEP 60」分→「SLEEP 90」分

↑ 「OFF」 ← 「SLEEP 120」分 ←
(タイマー解除)

例：



おやすみタイマー設定時に点灯

お知らせ

- [スリープ] を押すと残り時間を見ることができます。
- おめざめタイマー (⇒ 18) と組み合わせて使えますが、おやすみタイマーが優先されます。

タイマーを使う (続き)

おめざめタイマー

設定した時刻になると、毎日、電源が入って指定した音源を再生し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

- 「BLUETOOTH」セレクトのおめざめタイマーはできません。

準備する

- 時計を合わせる (⇒ 17)
- 再生する音源 (USB デバイス、外部機器など) を準備する

タイマーの時刻と音源を設定する

- 1 [設定] を数回押して「TIMER ADJ」を選び、[決定] を押す
 - [設定] を押すたびに表示が切り換わります。
- 2 「⓪PLAY」が表示されたら、[決定] を押す
- 3 [▲][▼] を押して開始時刻を合わせ、[決定] を押す
- 4 [▲][▼] を押して終了時刻を合わせ、[決定] を押す
- 5 [▲][▼] を押して再生したい音源を選び、[決定] を押す

タイマーを動作させる

- 1 [音量 -][音量 +] を押して再生したい音量に合わせる

お知らせ

- おめざめタイマーを有効にしている限り、毎日同じ時間にタイマーが動作します。
- おめざめタイマー動作中に本機の電源を切 / 入した場合、タイマーは設定した時刻に終了しません。
- おやすみタイマー (⇒ 17) と組み合わせて使えますが、おやすみタイマーが優先されます。

- 2 [設定] を数回押して「TIMER SET」を選ぶ

- [設定] を押すたびに表示が切り換わります。

- 3 [▲][▼] を押して「PLAY ON」を選び、[決定] を押す

例：



おめざめタイマー有効時に点灯

- 4 [電源] を押して電源を切る

- 電源を切らないと、タイマーは動作しません。

タイマーを設定すると
設定した時刻になると設定した音量まで
フェードイン (徐々に大きく) します。

■ 設定内容を確認するには

[設定] を数回押して「TIMER ADJ」を選び
[決定] を押すと、「⓪PLAY」と表示されます。
もう一度 [決定] を押すと、設定時刻、音源、
音量の確認ができます。

- 設定を表示中に [決定] を押すと、タイマーの設定画面に切り換わります。
- 電源切時は [表示切換] を2回押すことで表示できます。

■ 解除するには

上記の手順3で「PLAY OFF」を選ぶ

便利な機能

自動的に電源を切る（オートオフ）

無音の状態が 20 分以上続き、その間ボタン操作などがなかったときに、自動的に電源が切れます。

- お買い上げ時の設定は「OFF」です。

1 [設定] を数回押し「AUTO OFF」を選び、[決定] を押す

- [設定] を押すたびに表示が切り換わります。

2 [▲][▼] を押して「ON」を選び、[決定] を押す

例：

オートオフ設定時に点灯



- 再度、無効にするときは「OFF」を選びます。

お知らせ

- オートオフ機能は無効にしない限り、電源を切/入しても動きます。
- Bluetooth® 機器を本機と接続している場合、オートオフ機能は動きません。

Bluetooth® スタンバイを設定する

ペアリング済みの Bluetooth® 機器で、Bluetooth® メニューから本機を選択すると、本機はスタンバイ状態から自動的に起動し、Bluetooth® 接続されます。

1 [設定] を数回押して「BLUETOOTH STANDBY」を選び、[決定] を押す

2 [▲][▼] を押して「ON」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- Bluetooth® スタンバイを解除するには、手順 2 で「OFF」を選びます。

リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンを操作すると、本機にも影響してしまふことがあります。

このときは、リモコンモードを変えてください。

- お買い上げ時の設定は「REMOTE 1」です。

- 本機側を「REMOTE 2」に切り換えるには

1 [AUX] を押して、セクターを「AUX 1」または「AUX 2」に切り換える

2 本体の [USB] を押しながら、リモコンの [AUX] を押したままにする

「REMOTE 2」と表示されます。

- リモコン側を「REMOTE 2」に切り換えるには

3 リモコンの [決定] と [USB] を 4 秒以上押したままにする

動作を確認してください

リモコンの操作ができれば、正しく設定されています。リモコンが動かないときは、表示部に表示されている数字にリモコン側を切り換えてください。

例：「U30 REM2」と表示された場合
手順 3 を行ってください。

- リモコンモードを「REMOTE 1」に戻すには

① 上記の手順 2 で本体の [USB] を押しながら、リモコンの [USB] を押したままにする

- 「REMOTE 1」と表示されます。

② リモコンの [決定] と [※] を 4 秒以上押したままにする

ソフトウェアのバージョンを確認する

[設定] を数回押して「SW VER.」を選び、[決定] を押す

- 終了するには、再度 [決定] を押してください。

こんな表示が出たら

表示文字	意味	調べるところ・対策
A NO DEV B NO DEV	USB デバイスが正しく接続されていません。	USB デバイス を正しく接続してください。 (⇒ 10)
ADJUST CLOCK	タイマーを動作させるには時計設定が必要です。	時計を合わせてください。(⇒ 17)
ADJUST TIMER	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定していません。	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定してください。(⇒ 18)
AUTO OFF	本機の使用が 20 分間なかったため、オートオフ機能 (⇒ 19) が働き、電源が切れます。	取り消すときは、[決定] を押してください。
ERROR	誤った操作をしています。	操作をやり直してください。
F □□	異常が発生しました。(本システムは異常を検出すると、保護回路が働いて、電源を自動的に切ります)	著しい大音量で聴いていませんか。また、異常に暑い場所で使用していませんか。 しばらく待ってから再び電源を入れてください。 (保護回路の動作が解除されます) それでも同じ現象が起こる場合は、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。
GUITAR SWITCH ON	マイク / ギター切換ボタンが [■ ギター] の位置になっています。	マイク / ギター切換ボタンを押して [■ マイク] の位置にしてください。
INVALID	カラオケ機能が「OFF KARAOKE」のときはボーカルキャンセル、エコー、キーコントロールが設定できません。	本体の [カラオケ] を押して、「ON KARAOKE」を選んでください。(⇒ 15)
NO PLAY UNSUPPORT	再生できない曲です。	その曲をスキップして再生します。
	USB デバイス内のファイルが再生できないフォーマットです。	「.mp3」、「MP3」の拡張子のファイルを再生してください。(⇒ 6)
	異常が発生しました。	電源を切ったあと、電源プラグを抜き差しして、再度電源を入れてください。
NO TRACK	USB デバイスに再生可能なアルバムまたはトラックが記録されていません。	USB デバイス に MP3 の音楽ファイルを入れてください。(⇒ 6)
PLAYERERROR	対応していない形式の MP3 ファイルです。	その曲をスキップして再生します。
READING	USB の情報を読み込んでいます。	「READING」が消えてから操作してください。
U30 REM1 U30 REM2	リモコンモードの設定が本機と合っていません。	「U30 REM1」が表示される場合、リモコンの [決定] と [※] を 4 秒以上押したままにしてください。 「U30 REM2」が表示される場合、リモコンの [決定] と [USB] を 4 秒以上押したままにしてください。
TEMP NG	高温を感知すると保護回路が働き、本機は電源を自動的に切ります。	● 熱が冷めるのをしばらく待ってから再び電源を入れてください。 ● 背面の通気孔をふさがないように本機を置いてください。
USB OVER CURRENT ERROR	USB デバイスに過大な電流が流れるのを検出しました。	USB デバイス を本機から取り外して、接続をやり直してください。(⇒ 10)
VBR	VBR 再生中は、曲の残り時間が表示されません。	—

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

本機の温度上昇について
長時間使用すると、本機が熱を持ちますが、
使用には問題ありません。

本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには

本機の動作がおかしいと思われる場合、一度お買い上げ時の状態に戻してみると、症状が改善されることがあります。

- ① 電源プラグを抜く
 - 3分以上たってから手順②を行ってください。
- ② 本体の[電源 〇/I] を押しながら電源プラグを接続する
- ③ 表示部に「—————」が表示されるまで、本体の[電源 〇/I] を押したままにする
 - リモコンモードなどすべての設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。

本機の電源が「切」のときに、表示部が自動的に点灯して変化する

- 本体の[■] を押したままにする。
「DEMO OFF」が表示されます。

音が飛ぶ / 音が出ない

- 本機の音量を調節してください。
- 著しい大音量で聴いていませんか。または異常に暑い場所で使用していませんか。
音量を下げるなどして原因を解消し、電源を切ってください。しばらく待ってから再び電源を入れてください。

音量が設定より小さく感じる

- 著しい大音量で聴き続けると、本機の保護回路が働き、本機の音量を抑えることがあります。

共通

再生中に「ブーン」という音がする

- 接続コードの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他機器の電源を切るか、本機からできるだけ離してください。
- 電源プラグを逆に差しかえてみてください。

操作を受け付けなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。
- ① [電源 〇/I] を押し、電源を切る
 - 電源が切れない場合は、約 10 秒間押したままにすると強制的に切れます。
(それでも切れない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、約 3 分後再びコンセントに差し込む)
 - ② [電源 〇/I] を押し、電源を入れる

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

故障かな！？（続き）

リモコン

リモコン操作ができない

- 電池が消耗している場合は電池を交換してください。(⇒ 8)
- 本機の受信部とリモコンの間に障害物があるかもしれませんか。(⇒ 8、9)
- 本機とリモコンのリモコンモードが異なっている場合は、リモコンのリモコンモードを本機と合わせてください。(⇒ 19)

本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する 他の機器のリモコンで本機が誤動作する

- 他の機器が干渉しないように、本機とリモコンのリモコンモードを変更してください。(⇒ 19)

USB

▶/⏮ を押しても再生が始まらない

- USB デバイスを本機から取り外して、本機の電源を切ってから、もう一度 USB デバイスを接続してください。

USB デバイスを接続しても認識されない

- 本機では、「.mp3」、「.MP3」の拡張子のファイルのみ再生できます。(⇒ 6)
- 本機が対応していない USB デバイスを接続しています。

操作に時間がかかる

- 容量の大きい USB デバイスの場合、操作に時間がかかることがあります。

再生時間の表示が、実際の再生時間と異なる

- 音楽ファイルを別の USB デバイスにコピーして、USB デバイスを初期化してください。

Bluetooth®

Bluetooth® 機器が登録できない

- Bluetooth® 機器の状態を確かめてください。

Bluetooth® 機器と無線接続されない

- Bluetooth® 機器が登録されていないか、Bluetooth® 機器から本機の登録情報が消去された可能性があります。登録をやり直してください。(⇒ 12)
- 本機が他の Bluetooth® 機器と接続されているか。他の Bluetooth® 機器の電源を切ってください。
- 本機の電源を切 / 入してから、接続をやり直してください。

Bluetooth® 機器と接続されているが、本機から音が出ない

- お使いの Bluetooth® 機器によっては音声出力を本機に設定しないと音が出ません。Bluetooth® 機器に付属されている説明書などをお読みください。

音が途切れる

- Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10 m）を超えていませんか。本機と Bluetooth® 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth® 機器間に障害物がありませんか。障害物を避けてください。
- 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。本機と Bluetooth® 機器を離してお使いください。
- 本機の通信モードを「MODE1」に設定してみてください。(⇒ 13)

本機のお手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはがれるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

(⇒ 21、「本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには」)

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

スピーカーについて

- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも、音がひずんだときや音質を調節したときは音量を下げてください。（音量を下げないと、スピーカーの破損の原因になることがあります）

仕様

■ アンプ部

実用最大出力合計値 800 W (非同時駆動、JEITA)

実用最大出力 (非同時駆動、JEITA)

HIGH:

240 W (3 Ω、10 kHz、全高調波ひずみ率 10 %)

MID:

240 W (3 Ω、1 kHz、全高調波ひずみ率 10 %)

LOW:

320 W (2 Ω、100 Hz、全高調波ひずみ率 10 %)

■ 端子部

USB 接続端子

USB インターフェース: USB 2.0 フルスピード

再生フォーマット: MP3 (*.mp3)

ファイルシステム: FAT12、FAT16、FAT32

供給電流: 最大 500 mA

マイク / ギター端子

マイク 1: モノラル (φ6.3 mm)

マイク 2 / ギター: モノラル (φ6.3 mm)

音声入力端子 (音声入力 1) ステレオ ピンジャック

音声入力端子 (音声入力 2) ステレオミニ (φ3.5 mm)

音声出力端子 ステレオ ピンジャック

■ スピーカー部

ツイーター 6 cm コーン型 × 1

ウーハー 10 cm コーン型 × 2

スーパーウーハー 25 cm コーン型 × 1

■ Bluetooth® 部

バージョン Bluetooth® Ver. 2.1+EDR

送信出力 Class 2

対応プロファイル A2DP、AVRCP

通信方式 2.4 GHz band FH-SS

見通し通信距離 約 10 m

■ 総合

電源 AC100 V、50/60 Hz

消費電力

動作時: 105 W

待機時: 約 0.4 W

待機時 (「BLUETOOTH STANDBY」を

「ON」に設定時): 約 0.5 W

寸法 (幅 × 高さ × 奥行) ※

378 mm × 724 mm × 436 mm

質量 約 19.8 kg

許容動作温度 0 °C ~ +40 °C

許容相対湿度 35 % ~ 80 % RH (結露なきこと)

🔍 お知らせ

● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

※ キャリーハンドルは収納された状態です。

著作権など

- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- 本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

「JIS C 61000-3-2 適合品」
: JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部: 限度値—高調波電流発生限度値 (1 相当たりの入力電流が 20 A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

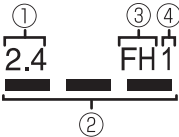
無線機能使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数帯を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、定格銘板に記載しています。



- ① 2.4 GHz 帯を使用
- ② 2.400 GHz～2.4835 GHz の全帯域を使用
- ③ 変調方式が FH-SS方式
- ④ 電波と干渉距離 10 m 以下

Bluetooth® 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先： パナソニック株式会社
パナソニック お客様ご相談センター
(⇒ 裏表紙)

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造する
- 定格銘板を消す / はがす

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth® 機能対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth® 機能対応機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時にご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ 他機器からの影響

- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。
次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
ー電子レンジ
ーデジタルコードレス電話機
ーその他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
ー電波が反射しやすい金属物などの近く
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

■ 用途制限

本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途*での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

* ハイセイフティ用途とは、以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のことをいいます。

例：原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは
■ **まず、お買い求め先へご相談ください。**

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	()	—	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは
「こんな表示が出たら」（⇒ 20）、「故障かな!？」
（⇒ 21、22）でご確認のあと、直らないときは、
まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の
内容をご連絡ください。

● 製品名	アクティブスピーカーシステム
● 品番	SC-CMAX5
● 故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間
 - 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
- ※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **6 年**

当社は、このアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、
製造打ち切り後 6 年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。
ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 使いかた・お手入れなどのご相談は・・・
- 修理に関するご相談は・・・

パナソニック お客様ご相談センター

電話 365日 受付9時～20時
フリーダイヤル パナは 365日
 **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話
フリーダイヤル パナは イイヨ
 **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
・上記電話番号がご利用いただけない場合は、
各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに
利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただく
ときのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委
託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお
問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道地区	
札幌 ☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7
旭川 ☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
帯広 ☎(0155)33-8478	帯広市西20条北 2丁目23-3

函館 ☎(0138)48-6630 函館市西栲栳町589-241

東北地区

青森 ☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡 字稲村262-1
秋田 ☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩手 ☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮城 ☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町 7-4-18

山形 ☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福島 ☎(024)991-9308	郡山市備前館2丁目5

首都圏地区

栃木 ☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群馬 ☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨城 ☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼玉 ☎(048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
千葉 ☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東京 ☎(03)5477-9700	東京都杉並区本天沼 3丁目43-16

山梨 ☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
神奈川 ☎(045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町 561-4

新潟 ☎(025)286-0180 新潟市東区東明1丁目8-14

中部地区

石川 ☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目 266番地
富山 ☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福井 ☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長野 ☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静岡 ☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松 2丁目24-24

愛知 ☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町 8-10
-------------------	--------------------

岐阜 ☎(058)278-6720 岐阜市中鷺4丁目42

三重 ☎(059)254-5520 津市久居野村町字山神421

近畿地区

滋賀 ☎(077)582-5021	栗東市小栢9丁目4-10
京都 ☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原 3番地

大阪 ☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
奈良 ☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町 800番地

和歌山 ☎(073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
兵庫 ☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台 3丁目13-4

中国地区

鳥取 ☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
松江 ☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出雲 ☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜田 ☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡山 ☎(086)242-6236	岡山市北区野田 3丁目20-14

四国地区

香川 ☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分 359番地3
徳島 ☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高知 ☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛媛 ☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉 75-1

九州地区

福岡 ☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐賀 ☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸 字上深町3044
長崎 ☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大分 ☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮崎 ☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉 2099-2
熊本 ☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
鹿児島 ☎(099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3

沖縄地区

沖縄 ☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11
-------------------	---------------

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

0514

会員サイト「CLUB Panasonic」で「**ご愛用者登録**」をしてください



<http://club.panasonic.jp/>

※このサービスは WEB 限定のサービスです。



●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック お客様ご相談センター

電話

365日 受付9時～20時

フリーダイヤル

パナは

365日



0120-878-365

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイドを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130 井」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787

Open: 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。

ご了承ください。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話

フリーダイヤル

パナは

イイヨ



0120-878-554

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検

長年ご使用のアクティブスピーカーシステムの点検を!



こんな症状は
ありませんか

・煙が出たり、異常なおいや音がある
・音声が出ないことがある
・内部に水や異物が入った
・本体に変形や破損した部分がある
・その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、
電源を切り、コンセントから
電源プラグを抜いて、
必ず販売店に点検をご相談
ください。

パナソニック株式会社

ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号